

2021年3月11日
 国立情報学研究所
 学術コンテンツ課

2021年度 学術情報流通推進委員会 活動計画

第1期基本方針のもとに、2021年度は次の活動を実施する。

(1) 国内ステークホルダーとの協調

- 学術情報流通推進委員会を開催し、学術情報流通に係る国内外の情報共有を図る。併せて、国内外の学術情報流通に係る動向や各ステークホルダーのポジションペーパーを基にした、オープンアクセス・オープンサイエンス推進のための戦略を取りまとめる。

(2) 国際協調に係る戦略の検討と提言

- 国内外の学術情報流通に係る動向や各ステークホルダーのポジションペーパーを基にした、オープンアクセス・オープンサイエンス推進のための戦略を取りまとめる。
- 国内コンソーシアムとともに、国際的なイニシアティブ (arXiv.org, CLOCKSS, SCOAP³) の窓口対応(参加の取りまとめや会費の支払い等)を行う。
- 国際的なイニシアティブの運営に参画するとともに、次の国際会議等に出席して、情報の収集や発信を行う。
 - ・ Open Access Week Advisory Committee
 - ・ arXiv Member Advisory Board
 - ・ CLOCKSS Board meeting
 - ・ SCOAP³ Governing council

(3) アドボカシー活動の実施

- SPARC Japan セミナーを数回実施する。2020年度同様に企画ワーキングを設置し、年間テーマを策定の上、年間テーマに沿って、各回の企画・実施を行う。
- SPARC Japan の web サイトにて、学術情報流通に係る国際的な動向に関するポータルサイトの充実を図る。
- SPARC Japan セミナーを含めた活動を、ウェブで広報する。また活動記録のために Newsletter を発行する。

(4) 学術情報流通の動向に係る調査の提言

- 2020年に引き続き、日本の論文公表実態調査について、JUSTICE に協力する。
- 調査内容・公開方法については改善を検討する。